

株式会社サンライズ精工



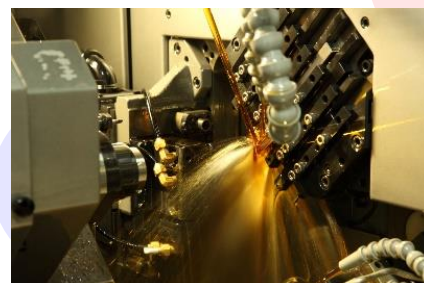
人工衛星用部品加工の革新的効率化とコスト低減



Difficulty material processing in KAGOSHIMA

生産上の問題点を解決する必要があった

生産加工工程の2次工程及び3次工程では加工を行う際に被加工品をそれぞれの機械に固定・脱着する作業を人手に頼る方法しかなく、加工時間よりも多くの時間を要していた。その結果、機械稼働率が低い水準で推移しており、取引先からの納期短縮の要望に応えることが困難で、さらに、今後想定されるコストダウンの要望に応じて取引を継続するためにも生産上の問題点を解決する必要があった。



切削加工の様子

こんな会社です



代表取締役 児玉祐司

常に新しい技術へ挑む!!

当社は、平成8年7月、鹿児島県霧島市で創業しました。光通信、各種分析機、半導体装置部品など、様々なジャンルの精密金属部品を製造・販売しています。お客様第一主義に徹し、魅力ある製品を提供すると共に、地球環境にやさしい製品づくりを追求する企業（OUR TEAM）として、“挑む!!”をスローガンに、若手技術者の新しい発想と経験の蓄積で難題へ挑み、成長発展し続けてまいります。

生産性の向上を目的にマシニングセンタとワイヤー放電加工機を導入



ワイヤー放電加工機



マシニングセンタ

人工衛星用部品製造において、設備の導入前は機械のセッティングに人手と時間を多く要する工程があり、機械の稼働率が低く、取引先の短納期に応えることができない状態であった。そこで、生産効率の向上を目的に、搬送装置付きマシニングセンタとワイヤー放電加工機を導入し、生産方法の改善を行った結果、人手による作業を削減し機械稼働率を向上させることができた。

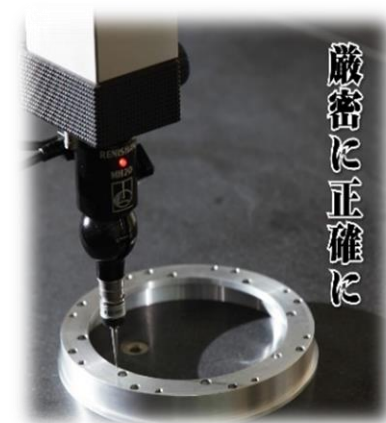
稼働率改善と生産性向上により継続した受注と売上増につながった

搬送装置付きマシニングセンタとワイヤー放電加工機を導入した結果、2次工程（マシニングセンタ）及び3次工程（ワイヤー放電加工機）の稼働率が大きく改善し、生産性の向上が図られた。また、製造工程の自動化により、従来の光通信、各種分析機器、半導体装置部品などの難削材精密金属部品に加え、人工衛星に関わる宇宙分野の精密加工部品の生産に取り組むことが可能になった。現在では継続した受注が入るようになり、当社の売上増に貢献している。



ワイヤー放電加工機用回転テーブル

新規案件に取り組むことで更なる販路拡大を図る



今後とも新分野に積極的に展開するための設備投資を行い、新たなアイテムの生産に対しても機械装置の自動化を進め、海外との単価競争に打ち勝つ生産工程の確立を図っていく。また、人工衛星用部品製造に係る新たな分野に進出するため、新規案件にも積極的に取り組むことで更なる販路拡大に努める。併せて、「サンライズ品質」の維持と品質向上を目標に、環境にも配慮した地球にやさしい製品づくりを目指していく。

info

株式会社サンライズ精工
代表取締役 児玉 祐司

事業実施場所
〒899-5112
鹿児島県霧島市隼人町松永2188-1
TEL 0995-44-9282
FAX 0995-44-9281
<http://www.sunrise-seiko.jp>

設立 平成8年7月
資本金額 1,000万円
従業員数 67名
業種 金属製品製造業



社 屋